AudioComm®

AM／FMステレオ 2バンド PLL※ポケットラジオ

RAD-F202M

取扱説明書 保証書付

※Phase Locked Loopの略。入·出力の信号を電子回路により一致させ、正確に同期した信号を発信できる同調方式です。

このたびは、AudioComm PLLポケットラジオをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保存し、必要なときにお読みください。

目　次

安全上のご注意 …… 1
電源について …… 4
各部の名称 …… 5
ラジオ放送を聴く …… 6〜7
現在時刻を設定する(デュアル・クロック機能) … 8
アラーム機能について …… 8
ホールドスイッチの使い方 ……9
ご使用上の注意 ……9
お手入れ方法 ……9
故障かな？と思ったら ……9
主な仕様 ……10

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、この「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

※ACアダプターについての項目は、別売のACアダプター(弊社品番03-3114)ご使用時の注意事項です。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に阻止するためにいろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡や大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりケガをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

△記号は、注意(警告、危険を含む)を促す内容があることを告げるものです。
(左図の場合は感電注意が描かれています。)

○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
(左図の場合は分解禁止が描かれています。)

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
(左図の場合「ACアダプターをコンセントから抜く」が描かれています。)

⚠警告

異常の時にプラグをコンセントから抜く	●煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災、感電の原因になります。 すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電池を取り外して下さい(ACアダプターをコンセントから抜いてください)。 煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。	接触禁止 感電に注意	●雷が鳴り始めたらアンテナ(ACアダプター)に触れないでください。 感電の危険があります。
水が入った場合はプラグをコンセントから抜く	●内部に水などが入った場合は、電池を抜いて(ACアダプターをコンセントから抜いて)販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。	禁止	●屋外で使用していて、雷が鳴り出したら、ワイヤーアンテナは外し使用を中止してください。 落雷の原因となります。
		禁止	●表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。 火災・感電の原因となります。
プラグをコンセントから抜く	●機器の内部に異物が入った場合は、電池を抜いて(ACアダプターをコンセントから抜いて)販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。	水かけ禁止	●浴室やシャワー室では使用しない。 浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しないでください。 火災や感電の危険があります。
分解禁止	●本体を修理、改造しないでください。 火災・感電の原因となります。	禁止	●ACアダプターコードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷きにならないようにしてください。 コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。 コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがあります。
禁止	●この機器を使用できるのは日本国内のみです。 自動車・船舶などの直流DC電源には接続しないでください。 火災の原因となります。		
コードを交換する	●ACアダプターコードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店または弊社修理窓口に交換をご依頼ください。弊社保証書規定に基づき、無償または有償にて交換いたします。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。	禁止	●ACアダプターコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。

⚠注意

禁止

- ●調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気が当たるような場所に置かないでください。
  火災・感電の原因となることがあります。
- ●ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。
  落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- ●ACアダプターを熱器具に近付けないでください。
  コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ●窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
  キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災・感電の原因となることがあります。
- ●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
  火災・感電の原因となることがあります。

音量は小さく

- ●電源を入れる前には、音量ボリュームを最小にしてください。
  突然大きな音が出て、聴力障害などの原因になることがあります。

乾電池の電極性に注意

- ●電池を機器内に挿入する場合、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示通り正しく入れてください。
  間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

- ●指定以外の乾電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池、アルカリとマンガンなど種類の異なる電池を一緒に混ぜて使わないでください。乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

- ●お手入れの際には安全のためACアダプターをコンセントから抜き、乾電池を取り外してください。
  感電の原因となることがあります。

禁止

- ●濡れた手でACアダプターを抜き差しないでください。
  感電の原因になることがあります。
- ●ACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。
  コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。必ずアダプター本体を持って抜いてください。

プラグをコンセントを抜く

- ●移動させる場合は、必ずACアダプターをコンセントから抜き、ヘッドホンを外してから行ってください。
  コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
  必ずACアダプター本体を持って抜いてください。

アンテナに注意

- ●持ち運びするときは、ロッドアンテナを収納し、ワイヤーアンテナを外してください。
  そのまま持ち運びするとアンテナが引っ掛かったりしてけがの原因になることがあります。

音量に注意

- ●イヤホンをご使用になる時には、音量を上げ過ぎないようにご注意ください。
  耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

プラグをコンセントから抜く

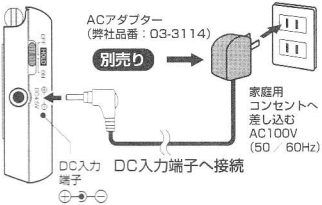
- ●旅行などで長時間本機をご使用にならないときは、安全のために必ず、ACアダプターをコンセントから抜き、乾電池も取り外してください。
  火災、液もれの原因となることがあります。

電源について

⚠注意 別売のACアダプターを抜き差ししたり電池を出し入れするときは、電源が切れた状態で行ってください。

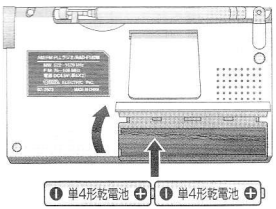
家庭用コンセントで使うには(別売のACアダプターを使用)

- 別売のACアダプターを、本機側面にあるDC入力端子へ接続した後、家庭用コンセントへ差し込んでください。
- 電池が入っている場合でも、ACアダプターを接続すると自動的にAC電源に切り替わります。
- 本機を使用しないときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。



電池を入れる(電池交換の方法)

本体背面にあるスタンド下部に指を掛けて引き上げます。そして、電池ボックスのふたの矢印部分を押しながら矢印方向へスライドさせてふたを開けます。単4形乾電池2本を電池の極性に注意して入れ、ふたを閉めます。(図参照)



※プラス⊕とマイナス⊖極性に注意してください。

電池交換の目安

電池が消耗すると液晶画面の電池残量マークが点滅します。2本とも新しいものに交換してください。

※電池を取り出して30秒以内に新しい電池を入れますと、メモリーと時刻は記憶されますが、30秒を超えますとリセットされてしまいます。リセットされた場合には再設定が必要です。

※アルカリまたはマンガン乾電池をご使用ください。(充電式電池は使用しないでください。)

注意：長期間使用しない時は液漏れを防ぐため、乾電池は取り外してください。

乾電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

- **乾電池が液漏れしたときは素手で液をさわらない。**
  液が本体内部に残ることもあるので、販売店、または弊社修理窓口にご連絡ください。
  液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐにきれいな水で充分洗い、直ちに医師の治療を受けてください。液が体や衣服に付いたときも、すぐにきれいな水で洗い、皮膚にけがや炎症あるときは医師に相談してください。

⚠警告

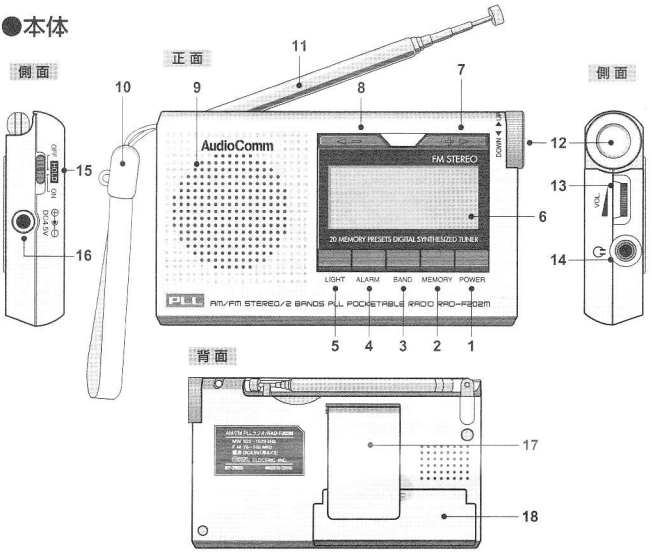
- 飲み込む恐れがあるので乳幼児の手の届くところに置かないでください。万が一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
- 機器の表示に合わせてプラスとマイナスの極性を正しく入れる。
- 充電しない。火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 金属類と一緒に携帯、保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使い切った電池は取り外す。長時間使用しないときも取り外す。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池(アルカリ電池、マンガン電池など)を混ぜて使わない。

⚠注意

- 火のそば・直射日光の当たる所・炎天下の車中などの高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

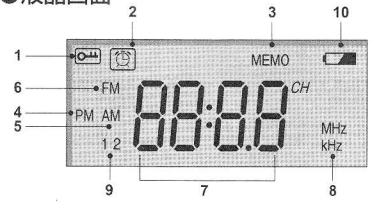
各部の名称

●本体



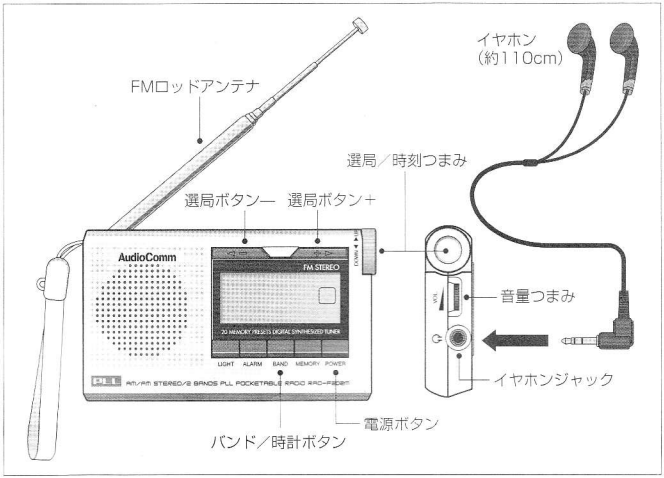
1 電源ボタン	7 選局ボタン+	13 音量つまみ
2 メモリー／時刻設定ボタン	8 選局ボタン−	14 イヤホンジャック
3 バンド／時計ボタン	9 スピーカー	15 ホールドスイッチ
4 アラームボタン	10 ハンドストラップ	16 DC入力端子
5 ライトボタン	11 FMロッドアンテナ	17 スタンド
6 液晶画面	12 選局／時刻つまみ	18 電池ボックス

●液晶画面



1 ロックマーク
2 アラームマーク
3 メモリーマーク
4 PMマーク
5 AMマーク(ラジオAM／時計AM)
6 FMマーク
7 周波数／時計表示
8 周波数単位表示
9 時計表示
10 電池残量マーク

ラジオ放送を聴く



1. イヤホンで聴く時はイヤホンジャックに付属のイヤホンを接続します。
2. 電源ボタンを押して電源を入れます。
3. 音量つまみで音量を調節し、バンド／時計ボタンを押してお聴きになるバンドを選びます。

※次に電源を入れた時には、電源を切る前に受信していたバンドから始まります。

4. 選局／時刻つまみを(DOWN)または(UP)方向に回して、周波数を合わせてください。
5. 聞き終わりましたら、電源ボタンを押して電源を切ってください。

自動選局機能の使い方

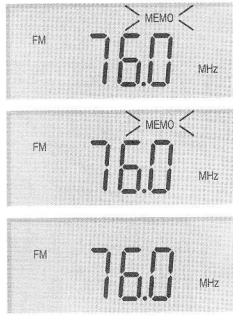
選局／時刻つまみを(UP)または(DOWN)方向に約2秒以上回したままにすると、自動選局機能が働きます。(UP)の場合は周波数が高い方へ、(DOWN)の場合は低い方へそれぞれ自動選局されます。

ラジオ放送を聴く

メモリー選局機能の使い方

本機はFMとAMそれぞれ10局のメモリー選局ができます。

1. バンドを選び、選局／時刻つまみの(UP)(DOWN)で放送局を選局します。
2. メモリーボタンを押すと液晶画面にメモリーマーク「MEMO」が点滅します。
3. 選局ボタン(＋／—)を押して局番号を選びます。
4. もう一度メモリーボタンを押すと、放送局が登録されます。
5. 選局ボタン(＋／—)を押してメモリーされた放送局を選ぶことができます。



ステレオ／モノラル音声切替機能の使い方

本機はFMステレオ放送に対応しています。(ステレオイヤホン使用時のみ)
ステレオ選択時にFMステレオ放送を受信するとFMステレオマークが点灯しステレオ音声で聴けます。

※本機のスピーカーはモノラル出力です。

受信状態を良くするには

●FM放送の受信

ロッドアンテナを最長に伸ばし、長さ、方向、角度を変えて受信状態が最も良くなるように調節します。

●AM放送の受信

本機にアンテナが内蔵されています。本機を動かして最も受信状態の良い方向に調節してください。窓際の方が受信感度が良くなります。

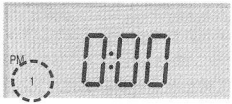
注意：テレビ・パソコン・蛍光灯などから発生する雑音の影響を受けやすいので、出来るだけ遠ざけて受信してください。

現在時刻を設定する(デュアル・クロック機能)

本機は12時間表示で2つの時計を設定することができます。(時差のある海外へ渡航するときなど非常に便利です。)

1. 電源が切れた状態でバンド／時計ボタンを押して「時計1」か「時計2」を選びます。
2. メモリー／時刻設定ボタンを押すと時間表示が5秒間点滅します。
3. 点滅中に選局／時刻つまみ(UP)で時間を、選局／時刻つまみ(DOWN)で分を設定します。
4. 再度メモリー／時刻設定ボタンを押すと、時刻が設定されます。
5. 以降、バンド／時計ボタンを押すごとに「時計1」、「時計2」の時刻が表示されます。

※約5秒以上操作をしないと、もとに戻ります。



アラーム機能について

あらかじめ設定した時刻になると、本機の電源が自動的に入る機能です。

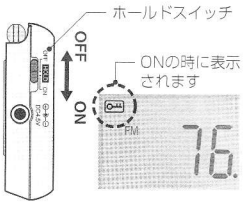
※あらかじめバンド／時計ボタンを押して「時計1」を選んでおきます。(「時計2」では本機能を使用できません。)

1. 本機の電源を入れ、任意の放送局を受信します。
2. アラームボタンを押すと液晶画面に時計マークと時刻表示が点滅します。
3. 点滅中に選局／時刻つまみ(UP)で時間を、選局／時刻つまみ(DOWN)で分を設定します。
4. ボタン操作をせずに約5回点滅した後、時計マークが点灯したら完了です。設定時刻になると自動的に電源が入り、1で設定した放送局を受信します。

※当機能を解除するには、アラームボタンを押して液晶画面が点滅している間にもう一度アラームボタンを押してください。

ホールドスイッチの使い方

本体の左側面にあるホールドスイッチをON方向にスライドさせると、液晶画面にロックマークが表示され、ボタン操作が出来なくなります。鞄やポケットに入れて持ち運ぶときに便利です。OFFにスライドさせると解除になります。(通常はOFFで使用します。)



ご使用上の注意

●近隣への迷惑にならないよう、音量には十分注意しましょう。
●イヤホンでお聴きになる際には、音量を最小にしてから徐々に音量を上げてください。(突然の大音量で耳に障害をおこす恐れがあります。)

お手入れ方法

●本体のクリーニング
本機表面の汚れは柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい時は、布をぬるま湯か、薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いたあと、から拭きしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを痛めますので、絶対に使用しないでください。

シンナー、ベンジン、アルコールは
使用しないでください。

故障かな?と思ったら

症　状	チェック項目
電源が入らない	●乾電池が入っていますか。 ●乾電池を入れる向きが正しいですか。乾電池が切れていませんか。 ●ホールドスイッチがONになっていませんか。
音が出ない	●乾電池が入っていますか。 ●乾電池の入れる向きが正しいですか。乾電池が切れていませんか。 ●音量が最小になっていませんか。 ●イヤホンがイヤホン端子に接続されたままになっていませんか。
雑音・音が震える	●乾電池が消耗していませんか。
雑音が入る	●近くで携帯電話を使用していませんか。(携帯電話を本機から離して使用してください) ●テレビやパソコン、蛍光灯などの近くでAM放送を受信していませんか。 (雑音が入る事があります)またテレビの近くで本機を使用するとテレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機をテレビなどから離してください。

主な仕様

受信周波数	AM522～1629kHz(9kHzステップ)
	FM76.0～108.0MHz(100kHzステップ)
スピーカー	直径40mm
外部出力端子	直径3.5mmステレオミニジャック(モノラル出力対応)
電源	DC3V(単4形乾電池2本：別売)
	外部電源：ACアダプター 4.5V 使用(別売：弊社品番03－3114)
連続使用時間	(アルカリ乾電池使用、音量中程度にて)
	イヤホン使用時：FM約26時間　AM約32時間
	スピーカー使用時：FM約15時間　AM約18時間
外形寸法	幅116×高64×厚18mm(突起部含まず)
質量	約96g(乾電池含まず)
付属品	●取扱説明書／保証書(本書)　●ステレオイヤホン

MEMO

保証書とアフターサービスについて

●保証書には購入年月日などが必要

この商品には、保証書を添付しております。お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、販売店よりお受け取り、大切に保管してください。必要事項の記載漏れは、すぐに販売店にお申し付けください。保証期間は、お買い上げ日より１年間です。

●調子が悪い時は

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪い時は、お買い上げの販売店、または弊社修理窓口にご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理させていただきます。
お買い上げの販売店にご相談ください。

MEMO

保証書

持込修理 無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
   (ロ) お買上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
   (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障及び損傷
   (ニ) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   (ホ) 本書のご提示がない場合
   (ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合 (但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
   (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   (チ) 一般家庭用以外 (例:業務用、または業務用に準ずる使用方法) で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	AM/FM PLLシンセサイザーラジオ			★お買上げ日： 年 月 日
型番	RAD-F202M	品番	07-2953	保証期間：本体1年間 (お買上げの日から)

お客様	
	★お名前 様
	★ご住所 〒 ー
	電話 ( )

修理メモ

販売店	
	★住所 店名 電話
	印

(注) ★印欄に記入の無い場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者 (保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは **お客様相談室** へ
●フリーダイヤル (無料) 0120-963-006
●携帯電話・公衆電話からは 048-992-2735
電話受付 平日 9:00~17:30 土曜 9:00~17:00 日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は **修理ご相談センター** へ
電話受付 048-992-3970 平日 9:00~17:00 土・日・祝日及び年末年始は除きます

07-2953A